



# 浜田まさとし通信

発行所：公明党川崎市議団 発行人：浜田まさとし 川崎区小田7-2-1-214 Tel333-4512 Fax355-5192  
HPアドレス <http://www.m-hamada.com> 印刷所：光明印刷 川崎市幸区塚越4-345

## ひとり親家庭の支援を!

## 食べきり運動の推進を!

12月19日、市議会の一般質問に立ち、  
(1)ひとり親家庭への支援、(2)川崎観光  
の推進、(3)父親ガイドブックの作成、(4)  
食べきり運動の推進、の4点について、提案  
を交えつつ質問しました。

10月に法務省が「子どもの養育に関する合意書作成の手引き」を作成。これは、未成年の子どもがいる夫婦が離婚した際に、養育費などの合意書を結んだケースが6割にとどまっていることから作られたものです。川崎市もひとり親家庭への支援を強化しようと質問しました。

市民文化局長は、法務省からの手引きが川崎市に5200部届いたことを示し（市内の離婚届は年間約2500件）、「平成28年から『ひとり親家庭応援メルマガ』を配信しているが、『ひとり親家庭のみなさんへ』というリーフレットも内容を充実させたい」と約束しました。

## 婚活にもつながる川崎観光を！

東扇島にできた浮き桟橋（さんばし）を活用しての観光クルーズの現状を確認し、婚活にもつながるように、若い男女が参加しやすい工場夜景観光を求めました。

経済労働局長は、日本初の工場夜景カレンダーとしてデビューした川崎の工場夜景カレンダーについて、取扱店が20店も増え50店になったことを紹介し、「浮き桟橋は東京湾クルーズツアーなどで3回活用している。学生を対象とした12月のオールナイト工場夜景には、男性14人、女性30人が参加したことから、今後も企画したい。海外からの旅行者も増えるように取り組みたい」と答弁しました。



## 父親ガイドブックを作成しよう！

父親の育児参加が子どもの成長・発達に大きな役割を果たし、家庭円満にもつながり、父親自身の仕事や生活の活力ともなると言われていることから、父親の育児参加を応援するガイドブックを作ろうと提案しました。

こども未来局長は、両親学級の参加者に占める男性の割合が増えていることを示し（女性の約7割）、「父親の意識向上に向けた冊子の作成を検討していきたい」と答えました。

## 食べきり運動を進めよう！

本来食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう、いわゆる食品ロスが、日本全国で年間に約800万トン出ていることから（お米の収穫量は850万トン、途上国への食糧援助量は390万トン）、覚えやすいキャッチフレーズを作って食べきり運動を進めようと質問しました。

環境局長は、横浜市や東京都など首都圏の9都県市で「食べきりげんまんプロジェクト」という楽しく食べる運動を進め、市内の21店舗が参加していることを紹介しつつ、「キャッチフレーズを活用した市民啓発にも取り組みたい」と答えました。

# 皆さんの声が実現しました！



桜木1丁目

皆さんの署名により、歩道を狭くしていた歩道橋を撤去



殿町1丁目

学校に近い通学路のため、車の安全通行を促す表示を設置



四谷下町

県にお願いして大師高校の東側通路にLED照明を6本新設



昭和2丁目

交通安全のため視界をさえぎっていた街路樹をせん定



太陽3丁目

伸びすぎて民家に届いていた公園の樹木をせん定



畠3丁目

雨水がたまりやすかった所に集水口を設置



## 視察報告

秋田県藤里町の職員から、大きな成果を上げている「引きこもり支援」について説明を受けました。引きこもりの言葉を使わず、「イベントを企画しましたので参加してくれませんか」と呼びかけていると伺い、感動しました。

昨年末の新聞折り込み情報誌「ぱど」で紹介されました。「川崎市の学校教育」とのテーマのもと、中学校給食や不登校対策が前進していることを話しました。

## トピックス



■回答者:浜田まさとし議員  
(川崎区/公明党川崎市議団)  
【①中学校給食について】  
本年1月、小中合築校の東横中学で給食が始まりましたが、来年1月からは3校が加わり、9月から更に22校、12月には全52校での完全給食が実現します。食物アレルギーにも配慮し、卵・小麦など7品目の除去食を提供。安全・安心で温かい中学校給食です。【②しっかりした主権者教育】選挙権年齢の18歳引き下げに伴い、市内の中小高校で主権者教育を実施。文部科学省のガイドラインに基づく取り組みにより、参院選での川崎市の18歳投票率は60%を超え、20政令市で最高となりました。【③不登校対策に全力】いじめや不登校に対応するため、全教職員にガイドブックを配布。生徒や家族、担任の先生などを総合的に支援するスクールソーシャルワーカーも増員しました。  
info@komei-kawasaki.com